

● 商工会

ホタテ炙り丼
常に食べられる体制を

新井田委員 ご当地グルメであるホタテ炙り丼の広告宣伝・販売促進を実施していますが、先行きが見えないため予約制にしているというのですが。

伊藤事務局長 現在は、7店舗が参加していますが、常時食べられる食堂は2店舗で、残り1は予約制となっていない場合は、予約していない場合は、食べられる2店舗を紹介しています。
新井田委員 お客様のニーズに答えられるのが普通の商店のありかであり、商工会全体としてリーダーシップを取ってほしいと思います。

竹田委員長 江差線グループで乗降客が多いようですが、日曜日に営業しているアンテナシ



新幹線開業を見据え関係団体との連携が重要となっています

ヨップが午後3時で閉まっています。

初期の目的である、サービス意識を持った取り組みを検討すべきではないでしょうか。
伊藤事務局長 最初は、全ての日曜日を開けなければならぬと思っていました。最近の日曜は物産展等のイベントが重なり、最初の計画から甘かったと思っています。

東出委員 過疎化脱却

や消費動向を盛り上げるため、木古内町が災害のない町だということとをPRするのもひとつの方法だと思えますが、商工会としての考えはどうでしょうか。

北島会長 2年半後には新幹線が開業しますが、人口減が木古内町に置かれている現状です。災害の少ない地域であり、定住化や企業誘致にどう結びつけるかが最大の懸案事項だと思っています。

● 観光協会

観光交流センター
観光協会との連携を

又地委員 観光交流センターが駅前に建ちますが、観光協会との連携や構想をどう考えていますか。

多田事務局長 観光交流センターのプランができあがりつつあることから、2、3度行政と議論はしています。ただ、町の考えと同じ部分もありますが、全体的にまだそぐわない部分もあり今後、具体的なものができた中で何ができるかを検討したいと思っています。

平野委員 サラキ岬の公園は、咸臨丸とサラキ岬に夢見る会の方々の活動で整備が進んでいます。高規格道路が開通すると交通量が20〜30%程度になるとい話を聞いていますが、観光協会としての考え

はありますか。

また、教育委員会で旧鶴岡小学校を資料館として整備を進めています。また、どのような連携を考えていますか。
多田事務局長 道路の交通量は変わると思いますが、咸臨丸は全国的にメジャーなものであり、道路事情が変わっても整備していくべきと考えています。

あくまでも、町を思う人づくりであり、自



ボランティアガイドづくりの重要性を訴える観光協会の皆さん

分や町の財産をつくりあげるという意識づくりの場であるということとを理解してほしいと思っています。
旧鶴岡小学校の郷土資料館の情報については具体的に話を聞いていません。

ただ、歴史的な資料づくりをしたり、ボランティアガイド組織という取り組みは今後、進めていく必要があると思っています。